

**忠岡町立東忠岡小学校**

故事成語の使い方として適切なものを選択する

考えられる課題

●故事成語の意味と使い方  
方を理解する。

正答率 40.9%  
無解答率 0.0%

これからの指導の方向性

☆伝統的な言語文化と国語の特質  
に関する事項における指導の充実  
を図る。

☆故事成語の意味や使い方を正しく  
理解させるだけでなく、実生活の中  
で意図的に活用する機会を設ける。

次の一と二の故事成語の使い方として最もふさわしいものを、1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

一 「五十歩百歩」

- 1 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べるのかでもめていた。すると、母が私たちを注意して、もめごとに関係のない弟に食べさせた。弟にとっては、**五十歩百歩**だ。
- 2 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗**ドッジボール**大会での優勝をめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝できたのは、**五十歩百歩**だ。
- 3 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回**忘れた**のか、六回**忘れた**のかで言い争っていた。このようなことで言い争う二人は、**五十歩百歩**だ。

北川さんの学級では、まど・みちおがたんぽぽを題材にして書いた【詩1】と【詩2】を比べて読み、考えたことについてグループに分かれて交流することにしました。この二つの詩と【グループでの交流の様子】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

三 あなたは、【詩1】と【詩2】を比べて読んで、どのようなことを考えましたか。次の条件に合わせ、せて書きましょう。

〈条件〉

- 詩の内容や表現の仕方などについて、共通点やちがう点を取り上げて書くこと。
- 「たんぽぽ」と「まど・みちお」の両方の言葉を使って書くこと。
- 八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

## 東忠岡小学校 国語 B

【詩1】と【詩2】を比べて読んで考えたことを書く

正答率 43.5%  
無解答率 21.7%

### 考えられる課題

- 二つの詩を比べて読み自分の考えを書く。
- 表現の工夫に着目して読み、詩の特徴を理解し、自分なりに解釈する。
- 条件に合わせて適切に書く。

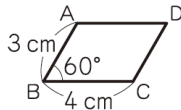
### これからの指導の方向性

- ☆ 詩における連の構成(連と連の関係、連の中に書かれている内容) 表現技法(比喩、反復、擬態語、擬声語など)、表記の仕方(漢字、平仮名、片仮名、常体と敬体の違い等)などについて具体的に指導。
- ☆ 条件に合わせて適切に書くこと。

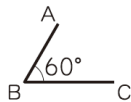
コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ。

6

下の平行四辺形ABCDをかきます。



まず、辺ABと辺BCをかきました。



次に、下のかき方で平行四辺形をかきます。

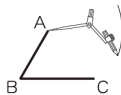
左のコンパスを使ったかき方は、平行四辺形のどの特ちょうを使っていますか。下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

平行四辺形は、

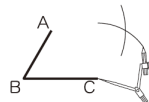
- 1 向かい合っている辺が平行である。
- 2 向かい合っている辺の長さが等しい。
- 3 向かい合っている角の大きさが等しい。
- 4 2本の対角線がそれぞれの真ん中の点で交わる。

コンパスを使ったかき方

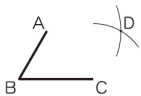
- ① 点Aを中心として、半径4 cm (辺BCの長さ) の円の一部分をかく。



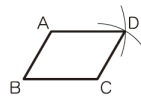
- ② 点Cを中心として、半径3 cm (辺ABの長さ) の円の一部分をかく。



- ③ 交わった点をDとする。



- ④ 点Aと点D、点Cと点Dを直線で結ぶ。



考えられる課題

●作図に用いられている図形の約束や性質を理解している。

これからの指導の方向性

- ☆ 作図の基となる図形の約束や性質について理解させる。
- ☆ 道具を使った作図の方法を図形の性質と関連付けながら理解させる。
- ☆ 立体図形と見取図や展開図とを互いに関連付ける活動を通して、立体と図との対応関係を理解させる。

正答率 48.7%  
無解答率 0%

6,7月の水の使用量が、1年間の水の使用量の1/4より多いことを説明するために用いる適当なグラフを選ぶ。

2

あきらさんは、学校の水の使用量について調べるために、事務室で下の資料をもらいました。

学校の水の使用量

| 月                    | 4・5月 | 6・7月 | 8・9月 | 10・11月 | 12・1月 | 2・3月 | 1年間  |
|----------------------|------|------|------|--------|-------|------|------|
| 使用量(m <sup>3</sup> ) | 550  | 1500 | 950  | 900    | 800   | 800  | 5500 |

※ 「4・5月」は、「4月と5月の合計」を表しています。

(3) あきらさんは、6・7月の水の使用量が1年間の水の使用量の $\frac{1}{4}$ より多いことを説明します。下の1から4までのどのグラフを使うと最もわかりやすいですか。1つ選んで、その番号を書きましょう。

## 考えられる課題

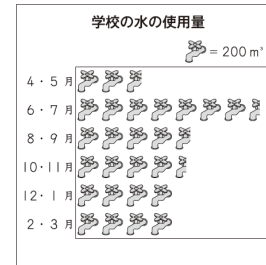
●全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することができる。

## これからの指導の方向性

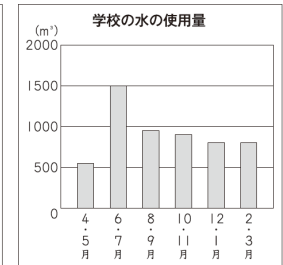
☆ グラフの指導にあたっては、それぞれのグラフの持つ特性を十分に理解させる。

☆ どのような目的でグラフを使うのか、またそれぞれのグラフのもつ特徴は何なのかを考えて目的に応じて、適切なグラフを選択したり、表したり、読み取ったり、判断したりする活動を取り入れた指導を行う。

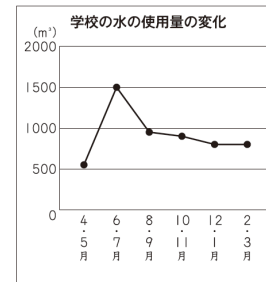
1 絵グラフ



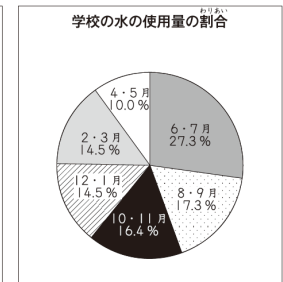
2 棒グラフ



3 折れ線グラフ



4 円グラフ



正答率

52.2%

無解答率

1.7%

40人分のご飯を分けるとき、10人分の目安を正しく表している図を全て選ぶ。

3

かつやさんの学級では、<sup>しゅくぱくがくしゅう</sup>宿泊学習の計画を立てています。

かつやさんたちは、<sup>かつやさん</sup>昨年<sup>かつやさん</sup>の昼食時間について、下の2つの問題点があったことを先生から聞き、解決方法を話し合うことにしました。

- ① ゆっくり準備したので、<sup>かたづ</sup>食事の時間や片付けの時間が短かった。
- ② ご飯を分け終わったとき、足りなくなったり、残ったりした。

(2) 次に、②の問題点について話し合いました。

かつやさんの学級は40人です。40人分のご飯は下のような入れ物に入ってきます。



かつやさんは、ご飯が足りなくなったり、残ったりしない分け方を考え、下のように言いました。

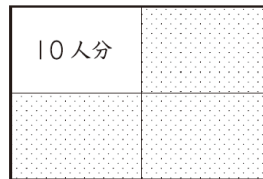


かつや

40人分のご飯が入っている入れ物を長方形とみて、10人分のめやすを最初に作れば、全員に同じくらいの量で分けることができると思います。

かつやさんの言っているめやすを正しく表している図を、次の1から4までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。

1



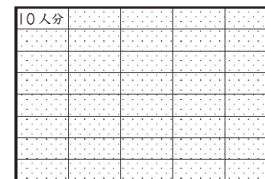
2



3



4



### 考えられる課題

- 部分量を基に全体量を相対的に捉え、その関係を表している図を選択することができる。

### これからの指導の方向性

- ☆ 10、100などを単位として、数の相対的な大きさを捉えることができるようにする。
- ☆ 部分量が全体量のどれくらいにあたるのかをとらえることができるようにする。

正答率 46.1%  
無解答率 1.7%

二人のイのリズムが重なる12小節目の12はどのような数であるかを書く。

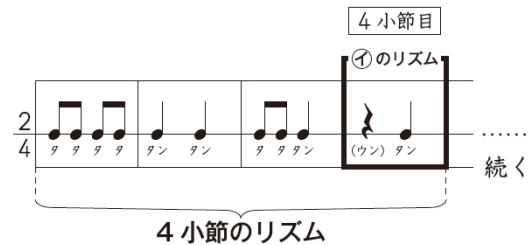
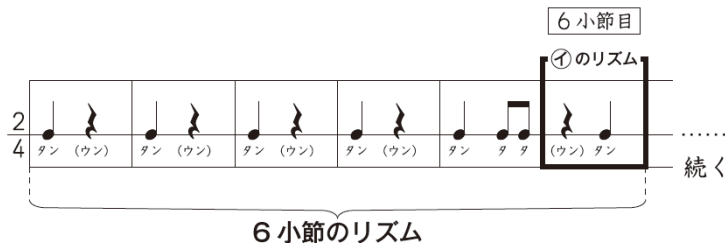
4

音楽の時間に、打楽器でリズムの練習をしています。



- (1) まさるさんは、タンブリンで下の4小節のリズムを何回かくり返します。  
 まさるさんが1小節目に演奏するリズムを、アのリズムとします。  
 1小節目のアのリズムを2回目に演奏するのは、5小節目です。

- (2) 次に、けい子さんも加わって、まさるさんと演奏することにします。  
 けい子さんは、カスタネットですの6小節のリズムを何回かくり返します。  
 けい子さんの6小節目とまさるさんの4小節目は、同じリズムです。  
 これを、イのリズムとします。



けい子さんとまさるさんは、同時に演奏を始めました。  
 すると、12小節目に二人のイのリズムが重なりました。  
 二人のイのリズムが重なる12小節目の「12」は、どのような数ですか。  
 言葉と「4」と「6」の数を使って書きましょう。

正答率 53.9%  
 無解答率 10.4%

**考えられる課題**

二人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目して記述できる。

**これからの指導の方向性**

- ☆ 繰り返し出現する事象から規則性を読み取り、数学的に理解できるようにする。
- ☆ 日常生活などの中にある、数量の関係を調べる活動を取り入れ、規則性を読み取る力を養う。

使いやすい箸の長さの目安を基に、一あた半の長さを表している図を選ぶ。

5

さゆりさんたちは、日本の伝統文化について調べました。

(2) まことさんは、使いやすいはしの長さのめやすについて発表します。

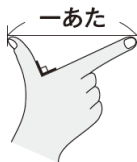


使いやすいはしの長さのめやす

使いやすいはしの長さのめやすは、「<sup>ひと</sup>一あた半」と言われています。

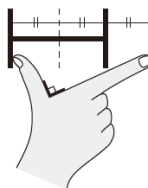
一あちは、親指と人差し指を直角に広げたときのそれぞれの指先を結んだ長さです。

一あた半は、一あちを1.5倍した長さです。

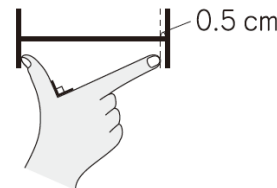


下の1から4までの中から、一あた半の長さを表しているもの(—)を1つ選んで、その番号を書きましょう。

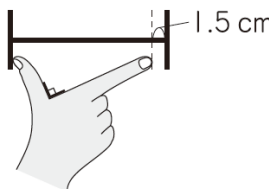
1



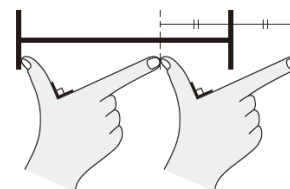
2



3



4



正答率 33.9%  
無解答率 0.9%

### 考えられる課題

示された情報を解釈し、基準量の1.5倍の長さを表している図を選択することができる。

### これからの指導の方向性

☆ 日常生活の中の事象も数理的に捉えることのできるものは多い。生活の中の事象を取り上げ、示された情報を解釈し、基準量・比較量・割合の関係を正しく理解できるようにさせる。



(11) 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。(テレビゲームをする時間は除く)

4時間以上が 34.8%  
3～4時間が 13%  
となっており、約半数が3時間以上。

### 考えられる課題

- 計画的な生活が送られていない。

### これからの指導の方向性

- ☆ 本校が取り組んでいる「家庭学習チャレンジ週間」を今後も継続して取り組み、計画的に規則正しい生活が送れるようにする。
- ☆ 家庭学習の意義や生活リズムの確立の重要性について、いろいろな機会をとらえて保護者にも啓発していく。

(17) 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)

全くしないが 27.8%  
10分より少ないが 22.6%  
となっており、半数以上が10分より少ない。

### 考えられる課題

- 計画的な生活が送られていない。
- 読書の習慣が身につけていない。

### これからの指導の方向性

☆ 本校が取り組んでいる「家庭学習チャレンジ週間」を今後も継続して取り組み、計画的に規則正しい生活が送れるようにする。

☆ 本校が取り組んでいる「目指せ！読書100冊」の取り組みを今後も継続して取り組み読書の楽しさを味わわせ、習慣化していくようにする。

## 忠岡町重点目標にむけての分析及び今後の方向性

### 忠岡町重点目標

①授業内容がわかる子どもをふやす

②授業で自分の考えをまとめ説明や発表ができる子どもをふやす

③家で計画的に学習する子どもたちを育てる

④読書に親しむ子どもたちを育てる

⑤自分には良いところがあると思う子どもたちを育てる

① 授業改善(授業の構造化・分かる授業の追求・個に応じた授業の形態・楽しく取り組める授業の在り方)。授業の各ステージにおけるICT機器の有効な活用。

② 基礎・基本の定着。ICT機器を利用した調べ学習の推進。授業の中に調べたことや自分の考えをまとめる活動を取り入れる。話し方のマニュアル等を利用した発表スキルの向上。

③ 家庭学習の意義や生活リズムの確立の重要性を児童のみならず保護者にも機会をとらえて啓発する。家庭学習チャレンジ週間の取り組みの推進。

④ 「目指せ！読書100冊」の取り組みの推進。  
家庭学習チャレンジ週間の取り組みの推進。

⑤ 行事や特別活動を通して、児童各自の参画意識を高める取り組みの推進や児童の相互評価の機会を設ける。